



議会報告会の様子(11月21日・アオツツ)

INDEX	
主な内容	
1	12月定例会の概要
2	福井市議会基本条例
2～3	主な議案
3～4	委員会審査
4～5	一般質問
6	予算特別委員会
7	議会日誌 県外視察報告
8	議案等の審議結果

そのほか、市政に対する一般質問を19人の議員が行い、26日、予定した日程を全部終え閉会しました。

また、議員提出議案として、「福井市議会基本条例の制定について」、「福井市議会の議決すべき事件等に関する条例の制定について」、「福井市議会委員会条例の一部改正について」及び「妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書について」の4件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。なお、意見書については、関係機関に提出することに決定しました。

9月定例会においては継続審査となっていた請願1件を審議した結果、請願1件を採択、請願3件、陳情1件を継続審査とすることに決定しました。

また、議員提出議案として、「福井市議会基本条例の制定について」、「福井市議会の議決すべき事件等に関する条例の制定について」、「福井市議会委員会条例の一部改正について」及び「妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書について」の4件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。なお、意見書については、関係機関に提出することに決定しました。

12月 定例会
平成23年度福井市各会計歳入歳出決算を認定
福井市議会基本条例を制定

福井市議会基本条例を制定しました

福井市議会では、平成22年6月に議会改革特別委員会を設置して以来、議会基本条例の制定に向けて検討を行ってきました。平成23年12月には福井市議会に関するアンケートを実施、平成24年11月には議会報告会を開催し、市民の皆さんからいただいたご意見を踏まえた上で条例案をまとめました。そして、平成24年12月定例会最終日に福井市議会基本条例を可決、同日制定しました。

福井市議会基本条例とは

福井市議会基本条例は、市議会の目指すべき姿として、「開かれた議会～市民に身近で信頼される議会～」、「監視機能と政策立案機能の向上～進んで行動する議会～」を掲げ、その実現を目指すための内容をまとめたものです。

条例に規定した主な内容は次のとおりです。



議会基本条例等に関する勉強会の様子

主な項目 ※これらについては平成25年4月1日から実施します。

○議決責任

議会が市意思を決定する議決権を有していることを踏まえ、その責任を認識し、議決により市の意思を決定したときや、政策を決定したときは、市民に説明する責任があることを明確にします。

○議会報告会

市民の皆さんからのご意見を市政に反映させるため、公民館ブロックごとに1会場ずつ、計8会場で行います。

議会報告会の内容は、議決結果や審議等の過程について報告し、また、市政全般について市民の皆さんからご意見をいただくというものです。

市民の皆さんからのご意見には、議員個人としてではなく議会として回答します。

このため、議会として結論が出ていないものについては議会に持ち帰り、協議を行った上で回答します。

○委員会等の公開

本会議に加え、新たに委員会、議員全員協議会、政策検討会を原則公開します。

○請願者、陳情者の意見聴取機会の確保

委員会において請願者、陳情者の意見を聴く機会を必要に応じて設けます。

○一問一答方式の導入

市長等との緊張感を保持し、論点・争点を明確にするため、本会議の一般質問において一問一答方式を導入します。(予算特別委員会ではすでに一問一答方式を導入)

○議員間討議

議会における議論の過程を市民の皆さんに明らかにするため、委員会や議員全員協議会などにおいて、従来の質疑の形式だけではなく、必要に応じて議員同士での討議を行います。

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成23年度各会計(一般・特別・企業)決算の認定等について審査するため、10月13日の3日間委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

(各会計決算は3頁の表参照)

平成24年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で9億5,990万円、競輪特別会計で434万円、下水道事業会計で60万3,000円を増額するもので、補正後の予算額は、全会計で2,090億5,631万1,000円となります。

○一般会計補正予算

和田、社北、六条地区の施設を整備改修し、新たな児童クラブ

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、8頁に掲載しています。

を設置する児童クラブ設置事業や、福井城に関する史料の収集や中央公園周辺区域の基礎調査を県と共同で行う、福井城址に関する基礎調査事業のほか、市の防災機能の強化と私立学校の振興を図るため、市が収容避難所に指定している私立学校体育館の新築を支援する補助事業などについて、9億5,990万円を増額するものです。

条例

○フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例及び福井市附属機関設置条例の一部改正について

福井市映像文化センター並びに福井市景観記録事業策定委員会及び福井市教育メディア利用促進委員会を廃止するとともに、フェニックス・プラザに係る目的外使用許可及び映像ホール利用料金についての規定の整備を行うものです。

平成23年度 一般会計・特別会計決算総括表 (単位:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	104,207,411,714	102,881,810,258
特別会計	国民健康保険	24,038,496,401
	国民健康保険診療所	29,442,844
	老人保健	14,351,005
	後期高齢者医療	2,773,515,609
	介護保険	19,580,442,122
	交通災害共済	26,745,680
	競輪	11,452,769,465
	簡易水道	384,508,798
	宅地造成	6,622,379,952
	中央卸売市場	1,303,291,800
	駐車場	508,739,969
	集落排水	1,221,911,928
	地域生活排水	244,698,188
	福井駅周辺整備	730,495,638
合 計	173,139,201,113	174,016,045,771

平成23年度 企業会計決算総括表 (単位:円)

会 計	区 分	収 入	支 出	収 支
下水道事業	収益的収支	6,931,349,829	6,399,903,722	531,446,107
	資本的収支	5,927,051,558	8,920,134,167	△ 2,993,082,609
ガス事業	収益的収支	4,074,445,823	3,959,164,666	115,281,157
	資本的収支	344,613,125	1,262,111,298	△ 917,498,173
水道事業	収益的収支	4,835,419,362	4,535,932,505	299,486,857
	資本的収支	1,500,195,189	3,021,424,475	△ 1,521,229,286

- 収益的収支: (料金収入等) - (サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支: (企業債等) - (建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額等で補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

市会案(議員提出議案)

条 例

○福井市議会基本条例の制定について

○福井市議会の議決すべき事件等に関する条例の制定について

○福井市議会委員会条例の一部改正について

意見書の提出

○妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書

地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。

人事案件

教育委員会委員

平成24年12月21日をもって任期満了となる石原義紀氏を引き続き選任することに同意しました。

人権擁護委員

平成25年3月31日をもって任期満了となる松原司郎氏を引き続き推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。(日程順に掲載)

決算特別委員会

国民健康保険特別会計

年々増加する医療費を保険料に転嫁していくのではなく、一般会計からの繰り入れによる対応等も含めて考えているのか。

取納率の向上に努めるほか、医療費の抑制が重要であることから、特定健診の推奨等による疾病の未然防止、電子レセプト導入による重複受診の防止、ジェネリック医薬品の推奨等により、医療費の抑制に努めていく。一般会計からの繰り入れについては、医療費抑制とのバランス等様々な要因を含めて検討していく。

安全安心なまちづくり対策 特別委員会

浸水対策

市内14箇所に設置してある土のう用の砂は、誰でも利用できるのか。また、吸水性土のうは水と同じ比重であれば浮いてしまうことはないのか。

土のう用の砂は浸水対策には自由に利用できるが、通常は、使用する際に自治会長等から連絡を受けている。吸水性土のうは家屋への浸水防止等に利用するものであり、使用する際は何段か積んだり、上に砂の土のうを置いたりする等の対策をとってほしい。

産業活性化対策特別委員会

観光施設の再整備

ガラガラ山総合公園の再整備後の目標は。

近年のキャンプ場利用者に望まれる施設とするため、ログキャビンの移築・改修とオートキャンプ場の整備を行う。さらに、温泉をログキャビンに配管したうえで、開園期間を現在の4〜10月から通年とすることに より、利用客の増加を図りたい。



公共交通・まちづくり対策
特別委員会

《福井駅西口再開発事業》

問 西口再開発ビル着工までの今後のスケジュールは。

答 建設予定地にある建物の取り壊しを11月から行っている。今後は埋蔵文化財調査を経て春には更地にし、秋にはビル建設に着手する予定である。

建設に着手する予定である。

総務委員会

《マイドーム清水の指定管理》

問 今回提案された事業計画ではこれまでの倍以上の利用者数を見込んでいるにもかかわらず、収支計画には大きな違いはないのはなぜか。

答 旧清水町が直営で施設を運営していたときの年間利用者数は2,000〜3,000人だったが、指定管理者制度導入後は各種イベント等で集客に努め、年間9,000人程度となっている。しかし、イベント等で利用者数が増加しても施設の使用料収入自体が増加するわけではないため、収支の大幅な増は見込んでいない。

建設委員会

《公園調整池整備工事》

問 9月6日の大雨時の災害状況をみると、浸水被害が減ったように感じないが、調

整池の整備は浸水対策にどの程度の効果があるのか。

底喰川流域で調整池を整備したことで、約2倍の雨量でも整備前と同程度の浸水面積にとどめることができたが、今後も被害をなくすためにさらに河川改修を進めていきたい。

答 教育民生委員会

《ライブラリー事業》

《ライブラリー事業》

問 3月末に廃止される映像文化センターから中央公民館に移管するライブラリー事業について、市民の要望に十分に答えられる専門の職員を配置しないのか。

答 中央公民館に事業がスムーズに移管されるよう引き続きをしており、専門職員は配置しないが、市の所管課に担当職員を配置して対応していく。

答 経済企業委員会

《ガス水道料金徴収等業務委託》

問 民間に委託することで情報の取り扱いに不安はないのか。

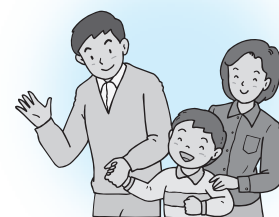
答 公募型プロポーザル方式での業者選定にあたり、個人情報等の取り扱いに関する認証等の取得を参加条件に考えており、業者からの提案の中でどのように情報を管理していくのか見極めたい。

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、19人の議員が一般質問を行いました。
(※ 議員名の前に付いている番号は質問順、質問内容の掲載は大項目のみ)

(敬称略)

一般質問

①峯田 信一 1 中心市街地活性化基本計画について 2 文殊山整備について 3 SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップの第4回定例会合の開催について	②村田 耕一 1 若年者雇用対策について 2 AEDの設置の現状とその取り組みについて 3 公立保育園の整備について 4 職員のモチベーション向上への取り組みについて	③田中 義乃 1 福井鉄道駅前線延伸について 2 経済対策について
④西本 恵一 1 北陸新幹線について 2 えちぜん鉄道と福井鉄道福武線の相互乗り入れについて 3 福井鉄道福武線ヒゲ線延伸について 4 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 5 犬猫の殺処分をゼロにするための施策について 6 公立保育園の環境について	⑤中村 綾菜 1 中心市街地「芝生化計画」について 2 SNSの活用について 3 労働環境改善について 4 気がかりな子について 5 企業誘致について 6 市民が集うホールについて	⑥吉田 琴一 1 福井市地域防災計画原子力災害対策編の策定について 2 里山林保全対策について 3 宮ノ下公民館建設中断について
⑦皆川 信正 1 福井駅西口空間デザインについて 2 福井国体及び市のスポーツ施設について 3 市施設の耐用年数と予算の持ち方について 4 福井縦貫線の早期整備について	⑧今村 辰和 1 公私立保育園のあり方について 2 福井駅西口全体空間デザインについて 3 公共工事の入札制度について 4 宮ノ下公民館について 5 トンネルの安全点検について	⑨奥島 光晴 1 中学校生徒暴力行為等の検証に係る最終報告について 2 学校施設の老朽化について 3 映画「旅の贈りもの 明日へ」について
⑩堀江 廣海 1 地域主権改革について 2 福井市中心部のまちづくりについて	⑪谷口 健次 1 防災、環境対策について 2 ごみについて	⑫堀川 秀樹 1 中学校生徒暴力行為等検証委員会について 2 至民中学校の教科センター方式、異学年クラスター制、70分授業の見直しについて 3 福井鉄道駅前線延伸について 4 福井駅西口中央地区市街地再開発事業における市施設について
⑬藤田 諭 1 福井市の原子力防災対策について	⑭後藤 裕幸 1 経済動向について 2 除雪について	⑮西村 公子 1 高齢者の生活を守る取り組みについて 2 ヒゲ線延伸問題と市街地のまちづくりについて 3 教育費の保護者負担軽減と演劇鑑賞事業の充実について
⑯島川 由美子 1 子ども・子育て関連3法について 2 認知症対策について 3 防災情報の提供について 4 子宮頸がん対策について	⑰片矢 修一 1 選挙について	
⑱鈴木 正樹 1 消費税10%増税による本市経済への影響について 2 電機産業の大量リストラ計画について 3 国の原発政策と市の防災対策について	⑲下畑 健二 1 コンビニエンスストアとの官民協働連携について 2 エネルギー対策について 3 放課後児童健全育成事業について 4 防災・減災対策について	



一般質問要旨

文殊山の整備

問 文殊山の二上コースの駐車場にトイレを設置する考えは。

答 二上コースを利用する登山者は多いため、平成26年春の文殊地区農業集落排水処理施設の供用開始に併せてトイレを設置する予定である。

ヒゲ線の延伸

問 福井鉄道駅前線の福井駅と西口交通広場への延伸と短絡線の整備により、福井駅にできる新電停にどのくらいの利用者を見込んでいるのか。

答 延伸による直接的な効果に加え、周辺電停からの移動者や西口再開発ビル利用者等による増加も含めると、新電停の利用者数は1日あたり1,000人程度となり、福井鉄道全線で最大級の電停となる見込みである。

問 地元の強い反対がある中で、延伸を決定するのは一方的ではないか。

答 地元商店街では、延伸により自動車の渋滞を招き、客足が遠のくという反対意見があるが、詳細な交通シミュレーションにより、延伸後の周辺交通への影響はわずかであるとの結論を得ており、西口再開発事業や西口交通広場の整備が動き出す今こそ判断すべき時期であると考えて決定した。

公立保育園のあり方

問 公立保育園の園児の受け入れ状況と課題は。

答 市全体で低年齢児の割合が増加傾向にあり、公立保育園としては、低年齢児を含めた途中入所児や発達障害児・虐待待児の受け入れ、子育て支援など、私立保育園では取り組みにくい分野の保育を担うため、施設整備や運営体制の強化を図っていく必要がある。

問 これらの課題への対応や保育の質の向上のため、市内の公立保育園を5つのブロックに区分し、中心的・指導的役割を担う統括保育園を配置する。

答 育児・介護休業のために必要な生活資金の融資にきやすい環境づくりのための具体的な取り組みは。

女性の労働環境改善

問 第4次男女共同参画基本計画に基づく、女性が働ける環境づくりの具体的な取り組みは。

答 育児・介護休業のために必要な生活資金の融資にきやすい環境づくりの具体的な取り組みは。

対する利子補給のほか、就職や転職、子育て後の仕事復帰を目指す女性のための就職支援セミナーを開催している。

また、女性の継続雇用や育児・介護休暇制度の推進については、中小企業労働相談員が事業所を訪問して周知しているほか、市政広報やホームページ等でも啓発を行っている。

原子力防災対策

問 安定ヨウ素剤の適切な服用・備蓄のための対策は。

答 現在、原発から半径30キロメートル圏内の自治会に住む40歳未満の住民に対し、約500人分、2,000錠を清水保健センターに備蓄している。

今後、同圏内に住む住民への重複配備を含め、市全域の対象者分の備蓄も検討していく。

問 原子力防災対策をとる区域を、福井市全域とする50キロメートル圏内とする考えは。

答 50キロメートル圏内については今回の福井市地域防災計画の見直し対象とはしていないが、放射性物質は地形や天候により必ずしも同心円状に拡散するものではなく、原子力規制委員会も同圏内における事

前対策の検討を引き続き行うとしているため、今後の国の動向を注視していきたい。

福井国体

問 国体で好成績を収めるためには、指導体制を充実し、選手の育成強化を図るべきだが、現在、全国レベルにある小・中学生の育成強化策は。

答 ジュニア層の強化については、「チームふくい」と命名されたジュニアアスリート強化事業が平成25年度から県で始まる予定である。

選手強化は、県を中心に各市町、各競技団体が一体となり実施することで効果があると考えられており、市としても各団体と連携しながら競技力の向上に努めていく。

問 福井の食

福井の食

問 県都デザイン戦略における福井駅周辺の食の拠点についての考えは。

答 福井には、歴史・文化・自然に根ざした自慢できる食べ物がたくさんあるため、官民協働で福井国体の開催時期を一つの目処として、旬の農林水産物やおろしそばなど福井ならではの料理を福井駅周辺で提供していくことが必要と考えている。

中学生の70分授業

問 教科センター方式実施校における70分という授業時間は、中学生が緊張感を持続させるには長すぎると考えるが、見直す考えは。

答 生徒が主体となる課題解決型学習を行うには50分では不十分との考えから、70分授業を積極的に実施している。

しかし、現在の学習状況を見て意見や疑問の声があるのも事実であるため、生徒の実態を考慮しながらふさわしい授業時間を検討しており、実行できることから取り組んでいく。

問 コンビニエンスストアにおける住民票等の各種証明書の交付サービスを導入する時期は。

コンビニエンスストアとの連携

問 コンビニエンスストアにおける住民票等の各種証明書の交付サービスを導入する時期は。

答 導入すれば市民の利便性は飛躍的に向上するため、ほとんどのコンビニエンスストアの設備が整う平成26年4月以降、早期に導入する方向で検討していきたい。

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

委員の変更

7名の委員から辞任願が提出されたため、12月4日の本会議において新たに7名の委員の選任を行いました。

【辞任】

西村 公子 今村 辰和

峯田 信一 奥島 光晴

藤田 諭 伊藤 洋一

中村 綾菜 (敬称略)

【選任】

山口 清盛 石丸 浜夫

鈴木 正樹 堀江 廣海

泉 和弥 後藤 裕幸

田中 義乃 (敬称略)

審査結果

12月4日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、12月19日及び20日に委員会を開催しました。

審査の結果、付託された予算議案及び報告については、いずれも原案どおり可決、承認しました。

(議案名は8頁参照)

主な質疑

福井駅東口の機能向上

問 市東部から中心市街地に来る人の利便性向上のために、駅東口発着の路線バスの運行は考えられないのか。

答 平成29年度にえちぜん鉄道の高架化され、交差道路の整備が完了した際には、福井駅周辺のルート設定の自由度が高まることから、発着点は西口交通広場としながらも、駅東口を経由する路線設定についても利用者のニーズを踏まえながらバス事業者と協議していきたい。

能舞台の移設

問 西口再開発ビルに移設する能舞台について、可動式とする従来の計画から固定式に変更したのはなぜか。

答 能楽関係者や類似施設の管理者から、可動式では能舞台に傷みやゆがみが生じる

との意見があったため計画を変更した。

津波対策

問 津波に備えて、防災面からの指導や津波への対策をどのように考えているのか。

答 まずは避難が大事であると考えており、そのための施策として地域住民が的確に避難できるような津波ハザードマップの作成、避難道路の整備、避難誘導標識の設置、日頃からの意識付けとしての海拔表示板の設置を考えている。

投票環境の改善

問 期日前投票所の混雑を緩和するため、投票所で記入している期日前投票宣誓書兼請求書を、郵送する入場券の裏面に印刷したり、市のホームページからダウンロードできるようにするなどの工夫はできないのか。

答 宣誓書を入場券の裏面に印刷すると、ハガキ1枚に印刷できる人数が減って郵便料などの経費が増加するため、費用対効果を考えて判断したい。ホームページへの掲載は、すでに不在者投票で実施しており、期日前投票の宣誓書につい

ても速やかに掲載し、その周知に努めていく。

観光PR

問 北陸新幹線の新潟開業に向けて、何を売りとして本市の観光PRをするのか。

答 観光拠点としては一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸の3つの拠点がある。新幹線による効果が特に大きく見込める沿線の信州などは、海に面していないため、今後は越前海岸や海の幸なども大きな売りになると考えている。

除雪

問 県道と市道が交わる交差点の除雪は、県とどのように役割分担をしているのか。

答 それぞれの路線における除雪の出動基準が同じ場合には、あとから除雪するほうが交差点の雪山等の処理を行い、基準が異なる場合には、先行して除雪するほうが雪山等の処理を行う。

外国資本の森林売買

問 水資源獲得を目的とした外国資本の山林の売買に

ついて、どのような対応を考えているのか。

答 県は平成24年4月に要綱を定め、水源涵養保安林や生活用水を供給するダムの水区域の民有林における土地売買などを監視することとした。市としても森林整備や森林保全が適切に行われるよう県と連携して情報収集に努めていく。

また、水道水を安全、安定的に確保していくために、水源周辺の森林を監視区域に組み入れてもらえるよう県に要望している。

学校教育

問 全国の自治体からも注目されている本市の学校教育の特色はどのようなところにあるのか。

答 中学校区内の保幼小中連携を進め、地域ぐるみで子どもを育てる中学校区教育を実施していること、学校全体で取り組む連合体育大会や連合音楽会などを継続して開催していること、郷土の偉人に関する副読本を作成し、ふるさとに愛着を持ち先人に続くこうという教育を行っていることの3点が挙げられる。

26日	議員全員協議会、本会議
21日	議会運営委員会
20日	予算特別委員会
19日	議会改革特別委員会
17日	教育民生委員会、経済企業委員会
13日	総務委員会、建設委員会
12日	本会議
11日	本会議
10日	本会議
5日	議会運営委員会
12月4日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議

12月定例会

議員の辞職

塩谷雄一議員から12月28日に辞職願が提出され、同日、許可されました。

28日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会	○	○
27日	議員全員協議会、議会運営委員会	○	○
26日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	○	○
22日	公共交通・まちづくり対策特別委員会	○	○
21日	産業活性化対策特別委員会	○	○
21日	議会報告会	○	○
19日	安全安心なまちづくり対策特別委員会	○	○
14日	都市行政問題研究会役員会(東京都)	○	○
14日	福井県市議会議長会議員研修会(敦賀市)	○	○
9日	議会運営委員会	○	○
8日	全国市議会議長会第189回理事会・第93回評議員会(東京都)	○	○
11月6日	第24回都道府県庁所在都市議長会定期総会(岐阜市)	○	○
31日	福井県市町議会議員合同研修会	○	○
30日	全国競輪主催地議会議長会役員会(第111回臨時総会(岸和田市))	○	○
29日	議会運営委員会、議会改革特別委員会	○	○
26日	友好都市提携10周年記念事業(27日 結城市)	○	○
22日	福井県市議会議長会中央要望活動(東京都)	○	○
18日	北信越市議会議長会理事會、評議員会(金沢市)	○	○
15日	福井県市町総合事務組合議会	○	○
10日	福井県自治会館組合議会	○	○
9日	第7回全国市議会議長会研究フォーラム in 松山(11日)	○	○
10月1日	全国競輪主催地議会議長会役員会(東京都)	○	○
10月1日	決算特別委員会(3日)	○	○

議会日誌(10~12月)

県外視察報告

10~11月に議会運営委員会、各常任委員会及び各特別委員会が県外の先進地を視察しました。

委員会名		開催日	調査事項
議会運営委員会 議会改革特別委員会		10月24日(水)~10月25日(木)	広報の強化について(大分県大分市) ・議会だより ・インターネット中継(議会ホームページ)
常任委員会	総務委員会	10月16日(火)~10月17日(水)	基幹的広域防災拠点施設及び防災体験学習施設について(東京臨海広域防災公園)(東京都江東区) ファシリティマネジメントについて(静岡県浜松市)
	建設委員会	10月16日(火)~10月18日(木)	九州新幹線西九州ルート開業に向けた取り組みについて(長崎県長崎市) 九州新幹線開業に伴う中心市街地活性化について(鹿児島県鹿児島市)
	教育民生委員会	10月16日(火)~10月17日(水)	北九州エコタウン事業について(福岡県北九州市) 教科センター方式について(山口県下関市)
	経済企業委員会	10月15日(月)~10月16日(火)	企業誘致について(岐阜県多治見市) 観光振興と海外戦略について(岐阜県高山市)
	公共交通・まちづくり対策特別委員会	11月12日(月)~11月13日(火)	新幹線開業に伴う並行在来線の第三セクター化について(しなの鉄道株式会社)(長野県上田市) シティホールプラザ アオーレ長岡について(新潟県長岡市)
特別委員会	産業活性化対策特別委員会	11月12日(月)~11月13日(火)	環境モデル都市の取り組みについて(高知県梼原町) 木質ペレット製造について(高知県梼原町)
	安全安心なまちづくり対策特別委員会	11月15日(木)~11月16日(金)	地震・津波対策について(静岡県沼津市) 防波壁等津波対策について(浜岡原子力発電所)(静岡県御前崎市)

(12月定例会) 議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議	結果
第 81 号議案	平成23年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	認 定
第 82 号議案	平成23年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定
第 83 号議案	平成23年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	認 定
第 84 号議案	平成23年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定
第 85 号議案	平成24年度福井市一般会計補正予算	12月26日	原案可決
第 86 号議案	平成24年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃
第 87 号議案	平成24年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃
第 88 号議案	平成24年度福井市ガス事業会計補正予算	〃	〃
第 89 号議案	平成24年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃
第 90 号議案	福井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃
第 91 号議案	福井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃
第 92 号議案	福井市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について	〃	〃
第 93 号議案	福井市道路構造条例の制定について	〃	〃
第 94 号議案	福井市道路移動等円滑化に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃
第 95 号議案	福井市準用河川構造条例の制定について	〃	〃
第 96 号議案	福井市特定公園施設移動等円滑化に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃
第 97 号議案	福井市水道の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例の制定について	〃	〃
第 98 号議案	福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	〃	〃
第 99 号議案	福井市都市公園条例の一部改正について	〃	〃
第100号議案	福井市営住宅条例の一部改正について	〃	〃
第101号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃
第102号議案	福井市公共下水道条例の一部改正について	〃	〃
第103号議案	フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例及び福井市附属機関設置条例の一部改正について	〃	〃
第104号議案	工事請負契約の締結について(東安居団地A棟新築工事)	〃	〃
第105号議案	工事請負契約の締結について(東安居団地B棟新築工事)	〃	〃
第106号議案	工事請負契約の締結について(市整N o . 2 1号公園調整池整備工事(森田北工区))	〃	〃
第107号議案	福井市マイドーム清水及び福井市農園施設マイファーム清水の指定管理者の指定について	〃	〃
第108号議案	福井市美山楽くらく亭の指定管理者の指定について	〃	〃
第109号議案	福井市美山森林温泉みらくる亭の指定管理者の指定について	〃	〃
第110号議案	福井市S S T らんどの指定管理者の指定について	〃	〃
第111号議案	福井市リズムの森の指定管理者の指定について	〃	〃
第112号議案	字の区域の変更について	〃	〃
第113号議案	福井市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃
第114号議案	教育委員会委員の任命について	12月4日	同 意
第 41 号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度福井市一般会計補正予算)	12月26日	承 認
第 42 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	12月4日	受 理
第 43 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
第 44 号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	〃	〃
市会案第11号	妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書について	12月26日	原案可決
市会案第12号	福井市議会基本条例の制定について	〃	〃
市会案第13号	福井市議会の議決すべき事件等に関する条例の制定について	〃	〃
市会案第14号	福井市議会委員会条例の一部改正について	〃	〃

(12月定例会) 請願・陳情等の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議	結果
請願第 4 号	公的年金の引下げに反対する意見書提出について	12月26日	継続審査
請願第 9 号	福井鉄道駅前線延伸反対について	〃	〃
請願第10号	生活保護基準を引き下げないことなどを求める意見書提出について	〃	〃
請願第11号	妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出について	〃	採 択
陳情第10号	福井鉄道駅前線の延伸について	〃	継続審査

次回
3月定例会です
(日程が決まり次第ホームページで
お知らせします)

傍聴してみませんか
傍聴できる会議

● 本会議
(席数 91席
車イス用 6席)

● 常任委員会
総務
建設
教育民生
経済企業

● 特別委員会
公共交通・まちづくり対策
産業活性化対策
安全安心なまちづくり対策
議会改革
予算

なお本会議、予算特別委員会の
模様はふくチャンネル121chで
生中継及び録画放送されます。

お問い合わせ
議会事務局 議事調査課
0776-20-5510

請願・陳情等の
提出について
請願・陳情などは、基本的にいつ
でも提出できますが、年4回(3・
6・9・12月)開催される定例会で審
議されますので、提出時期等詳細に
ついては事前に議会事務局にお問
い合わせください。